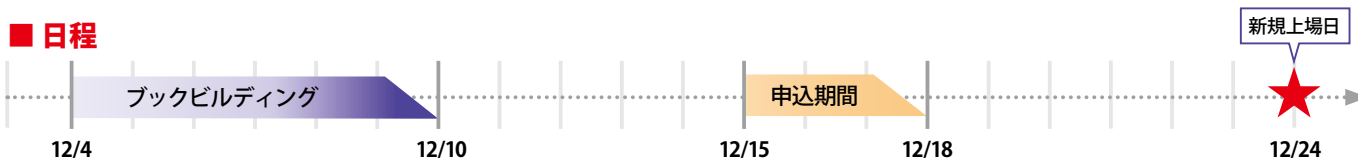


IPO銘柄 ヨシックス (3221・JASDAQ)

コード	投資単位	公開株式数	仮条件 (上限 PER)	主幹事証券
3221	100株	公募: 22.50万株 売出: 15.00万株 (OA5.62万株)	2,490円~2,640円 (11.9倍)	野村証券

■ 日程



居酒屋「ニパチ」や握り寿司居酒屋「や台ずし」などを機動的に出店

■ 事業内容

千葉県から熊本県まで幅広い地域で居酒屋チェーンを展開。主力は居酒屋「ニパチ」と本格職人握り寿司居酒屋「や台ずし」で、お好み焼き・鉄板焼き居酒屋「や台や」、鮮魚刺身と鶏黒炭焼きの個室居酒屋「せんと」などのブランドも手掛ける。「ニパチ」はその名の通り全品280円(税抜)均一でドリンク、フードを提供。「や台ずし」は気軽に握りずしを楽しめる店舗。14年10月末の店舗数は全業態161店舗のうち、「ニパチ」59店舗、「や台ずし」84店舗。新規出店はグループで毎期20~30とハイペース。社内に建装事業部を持ち、飲食店建築を中心に事業を展開している。15年3月期第2四半期累計(14年4~9月)の売上高構成比は飲食事業が99.1%、建装事業が0.9%。

■ 特徴

駅前1等地でなく、1等地の周辺にある1.5等地、2等地といわれる駅前に出店することで、固定費抑制、地元密着を意識した店舗運営を行っている。社内に保有する建装事業部を最大限に活用することで、新規出店、業態転換などを低コストで実施できる点も強みとなっている。

アナリストコメント

■ 定量分析

15年3月期の非連結経常利益は前期比56.3%増の8億5,400万円を計画する。積極的な新規出店による店舗数拡大で業績は高成長路線入り。強みである建装事業の活用によって不採算店舗も効率的に業態転換を行っているため、収益動向には大きな波が出にくくなっている。

■ 定性分析

外食株はIPOマーケットで人気セクターとはいえませんが、需給妙味の大きな案件が多いことから初値上昇率が高くなるケースが多い。ヨシックスは社内に建装事業を有することから、外食企業にとってネックとなる出店費用を抑えることができる点は評価材料となりそうだ。

■ 需給状況

仮条件の上限で試算した市場からの吸収金額は11億円程度。株主にはベンチャーキャピタル保有株もなく、需給面への不安はなさそうだ。ただ、IPO終盤戦の3社同時上場となるため、投資家のIPOへの参戦疲れ、資金の分散が起こる可能性はありそうだ。(小泉健太)

■ 類似企業

ヨシックス(3221・JASDAQ)	予想PER11.9倍 (仮条件上限)
鳥貴族(3193・JASDAQ)	予想PER27.4倍
ジェイグループホールディングス(3063・マザーズ)	予想PER54.4倍

■ 引受証券

野村証券、SMBC日興証券、SBI証券、みずほ証券、東海東京証券、岡三証券、マネックス証券、エイチ・エス証券、安藤証券、エース証券、高木証券、日本アジア証券

業績・財務指標

	売上高 (百万円)	前年比 (%)	経常利益 (百万円)	前年比 (%)	純利益 (百万円)	前年比 (%)	EPS (円)	1株あたり 年間配当金(円)
13年3月期(実績)	7,036	9.6	544	▲ 23.8	251	▲ 36.4	111.7	—
14年3月期(実績)	7,639	8.6	546	0.4	384	53.0	170.7	—
15年3月期(会社予想)	8,820	15.5	854	56.3	514	33.9	222.6	20.0

※株式分割を13年7月(1株→1,000株)、14年5月(1株→2.5株)に実施。13年3月期、14年3月期のEPSは遡及修正

	発行済み 株式総数(株)	総資産 (百万円)	純資産 (百万円)	資本金 (百万円)	BPS (円)	自己資本比率 (%)	自己資本当期 純利益率(%)
13年3月期	900	3,466	1,440	44	640.0	41.5	19.1
14年3月期	900,000	3,568	1,823	44	810.6	51.1	23.5

※13年3月期および14年3月期のBPSは遡及修正

大株主上位 (上場前)

	氏名または名称	所有株式数(株)	所有割合(%)
1	吉岡 昌成	950,000	40.20
2	吉岡	755,000	31.95
3	吉岡 光代	430,000	18.20
4	吉岡 裕太郎	100,000	4.23
5	瀬川 雅人	50,000	2.12
6	渥美 俊彦	15,000	0.63
7	渡辺 竜二	7,500	0.32
8	稲田 拓也	2,500	0.11
8	伊藤 政義	2,500	0.11
8	山田 真士	2,500	0.11

経営陣

役職	氏名
代表取締役社長	吉岡 昌成
専務取締役 や台やグループ統括事業本部本部長	瀬川 雅人
常務取締役 管理本部本部長兼建築事業部部長	吉岡 裕太郎
取締役 関東事業部事業部長	渡邊 竜二
取締役 経営企画室室長	大崎 篤彦
監査役(常勤)	佐藤 祥一
監査役	長谷川 一裕
監査役	戸谷 隆夫

モーニングスターIPOレポートの読み方

特 徴

モーニングスター IPO（※1）レポートでは、日本国内の取引所に新たに上場する銘柄を取り上げ、モーニングスターが位置する中立的な第三者としての立場から IPO に関する情報を提供いたします。ブックビルディング（※2）が始まる前にレポートを提供することにより、IPO への参加を検討している投資家にとって有用な情報となるでしょう。モーニングスター IPO レポートには、企業名・コード・公開株式数など基本情報やブックビルディング期間・申込期間など IPO 日程のほか、モーニングスターの担当アナリストによるコメントを掲載いたします。

※1 IPO (Initial Public Offering)：新規株式公開。

※2 ブックビルディング：引受証券会社が機関投資家などの意見をもとに決定した仮条件を投資家に提示し、投資家の需要がどの程度あるかを把握することによって、マーケットの動向に即した公開価格を決定する方法。一般的に需要積み上げ方式と呼ばれる。

項目説明

■ 事業内容

新規上場企業の事業概略を解説します。主要製品やサービスのほか、セグメント別の売上高構成比率などを記載。新規上場時の事業の状況や、先行きの見通しなども交えて分かり易くお伝えいたします。

■ 特徴

新規上場企業の設立経緯から現在の事業環境、ビジネスモデルや事業の強み、顧客動向、業績内容、海外展開、経営陣など様々な観点から特筆すべきエッセンスのみを抽出し、掲載いたします。

■ 定量分析

新規上場時に開示される前期、前々期の業績実績と今期の会社計画を用い、業績の成長性や収益性、財務安定性の面から新規上場銘柄を分析いたします。

■ 定性分析

新規上場銘柄が持つ事業の特性や事業環境、セクター動向などを踏まえ、定性的な評価をするほか、足元の株式市場の状況などを考慮して、マーケットから見た新規上場銘柄に対する見方なども掲載します。

■ 需給状況

公募・売り出しの株数と仮条件をふまえ、市場からの吸収金額を試算するほか、足元の新興市場の動向、類似企業の株価推移、ベンチャーキャピタルによる保有株放出の可能性なども考慮し、上場初日の需給状況を予想いたします。

■ 類似企業

新規上場企業と同じ業種に属する競合他社や類似企業を取り上げて PER を併記いたします。PER の水準は初値の参考指標として有効です。

本資料のご留意事項

- ・本資料は投資判断の参考としての情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。銘柄の選択、投資判断の最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- ・本資料は、SBI証券が、モーニングスター株式会社が信頼できると判断して作成したレポートを有償で提供を受けておりますが、その正確性、安全性等について保証するものではありません。本資料に掲載された意見は、作成日における判断であり、予告なしに変更される場合があります。
- ・本資料の著作権、知的所有権等一切の権利はモーニングスター株式会社並びに Morningstar.inc に帰属しますので、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。

手数料およびリスク等について

国内株式取引の手数料

- ・株式取引にあたっては、所定の手数料がかかります（手数料はお客様の取引コース、取引チャネル、取引プランや売買代金等により異なることから記載しておりません）。詳しくは、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は上場有価証券等書面等をご確認ください。

国内株式取引のリスク情報について

- ・国内株式の取引は、株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- ・信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、時として多額の損失が発生する可能性を有しています。
- ・信用取引の対象となっている株価の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、その損失の額が、差入れた委託保証金額を上回るおそれがあります。

留意点

- ・取引コースや商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、ウェブサイト、等をよくご確認ください。または最寄の取扱店までお問い合わせください。
- ・最終的な投資判断は目論見書の内容をご確認ください。目論見書はSBI証券のホームページで入手いただけます。

商号等：株式会社 SBI証券 金融商品取引業者
登録番号：関東財務局長（金商）第 44 号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会